

大人のための春夏トレンド大事典

Nice Look Nice Life! [メンズイーエックス]

3月号 第14巻第3
2007年3月11日発行
1994年6月30日創刊
http://www

MEN'S EYE

3 MAR
2007

ルイ・ヴィトン、グッチ、カルティエ、
ブルガリ、ポッテガ・ヴェネタ...

ブランドロゴでステイタスUP!

ネイビーブレザー
を今風に着る

今、売れている
スエード
靴は?

何を買うか? メンズ
時計の悩
スツキリ角

SCOOP!
G.アルマー
の薄マチセカ
ブラダ
のナイロントレ
ドルチェ&ガ
のライダーズブ

大人のための
春夏
トレンド
大事典

ビジネスマン必読!

読むと、

お洒落になる。

大人気継続中!ラルフローレン
春に爽やか!大人のマリン
イタリア男必携!ワンポイントタイ
出っ腹もスツキリ!着やせするシャツ
ちよっぴり艶やか!光沢のあるブーツ

春に着られる
レザーカタログ34

表紙の人 反町隆史さん

小さな村に着いた。街道沿いにはホイリゲ（居酒屋）が並び、人が集まり始めている。ホイリゲには「今年の一」という意味もあり、毎年11月11日の聖マルティンの日に、新酒が解禁される。ブルゴーニュのボージョレー・ヌーボと同じことである。酒場の裏の斜面には、ちょうど収穫を終えた葡萄畑があり、シュトゥルムを味わった。いわゆる濁酒である。ワインになる前の生まれたての甘い香りだった。ワインは都市のすぐそばまで葡萄の畑が広がっていて、緩やかな斜面からの高層ビルやドナウ河の眺めが素晴らしい。翌日は買い物客であふれかえる世界遺産・ウィーン旧市街を散策することに。19世紀の半ば、皇帝フランツ・

ヨーゼフは中世以来ずっと街を取り囲んでいた城壁を撤去して都市の大改造を行った。今日の環状道路（リンク）は、その産物である。また長年暴れ河として猛威をふるったドナウ河を改修し、先の「美しく青きドナウ」が完成した8年後に治水工事は完了した。防災と引き換えに、「青きドナウ」の景観は一変したのである。僕は老舗のグラス店「ロブマイヤー」に立ち寄った。一点一点丁寧に手作りしているこのグラスで飲むワインは一味違うと思っていたが、鉛を使わないカリ・クリスタルという素材が風味を引き立てているのだと得心した。旅にもう一つ、よき相棒が増えたのは言うまでもない。

ドナウを東へ、黒海を目指す



ウィーンの旧市街はユネスコ世界遺産に指定されている

上◇国立オペラ座は、音楽の都ウィーンを象徴するルネッサンス様式の歌劇場。オペラやバレエがほぼ毎日上演される。右下◇オペラ座に隣接するアルベルティーナは、世界最大のグラフィックアートを所蔵する美術館。企画展として偶然ピカソ展が行われていた。左下◇ウィーンのシンボリック存在の聖シュテファン寺院。見上げるとハプスブルグ家の紋章である「双頭の鷲」を表すタイル細工があった。



ウィーン市内の老舗「ロブマイヤー」を訪れる

1823年創業の老舗高級グラスブランド「ロブマイヤー」のお店は、ウィーン市内最大級のショッピングストリート、ケルントナー通りにある。ハプスブルク家御用達として有名だが、オーストリア以外で世界各国の王家や貴族に愛用される。鉛を含まないカリ・クリスタルは、通常よりも硬く、丈夫であるのが特徴。店内には博物館も併設され、年代順に数多くのクリスタル製品がずらりと展示されている。



丈夫なカリ・クリスタルに手彫り装飾を施す

ロブマイヤーの工房では、若きマイスターたちが細い針のような道具を使って、グラスやシャンデリなどに手彫りの装飾を刻んでいた。その丁寧な仕事と伝統に裏付けられた技術力は、現在も世界中で高い評価を得ている。実際、細いワイングラスの柄がしなやかに反ったのには驚いた。ロブマイヤー本総代理店「ロシナンテ」 ☎03-3423-4552 <http://www.lobmeyr-salon.ecnet.jp>